

テレビ東京系ドラマ「隣の男はよく食べる」の演出に ホーローシステムキッチン「トレーシア」が採用

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）のホーローシステムキッチン「トレーシア」が、現在放送中のテレビ東京系ドラマ「隣の男はよく食べる」の劇中で倉科カナさん演じる大河内麻紀と、菊池風磨さん演じる本宮蒼太のそれぞれの自宅のセットとして採用されました。



（劇中で登場するホーローシステムキッチン「トレーシア」）

テレビ東京系ドラマ「隣の男はよく食べる」は、恋を忘れた料理上手な独身大人女子の前に突然現れた、いっぱい食べる肉食年下男子とのピュアで不器用なムズキュンラブストーリーです。

今回セットとして採用されたホーローシステムキッチン「トレーシア」は、タカラスタンダード独自の「高品位ホーロー」を生かしたお手入れのしやすさや、自己流にアレンジできる収納、調理のしやすさなど、キッチンに求められる理想の機能が詰まったキッチンで、2020年2月の発売以降、大変ご好評いただいている商品です。

この度、同じマンションに住んでいるという設定の下、倉科カナさん演じる大河内麻紀と菊池風磨さん演じる本宮蒼太の自宅の雰囲気 matches しているとのことでセットにご採用いただきました。毎週水曜日夜深0時30分からの放送で劇中に登場していますので、ぜひご覧ください。

タカラスタンダードは、独自の技術を生かした商品ラインアップで、これからもより多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう商品を展開してまいります。

【ご参考】▼ホーローシステムキッチン「トレーシア」

https://www.takara-standard.co.jp/product/system_kitchen/treasia/

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客様のニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）】